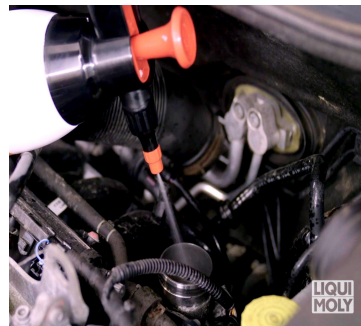


リキモリ キャタリティックシステムクリーナー

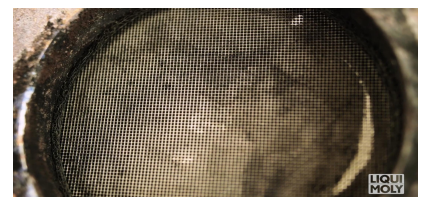
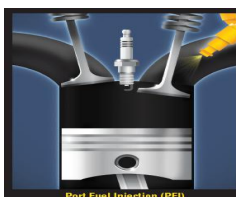


触媒とインテークバルブと燃焼室を簡単洗浄！



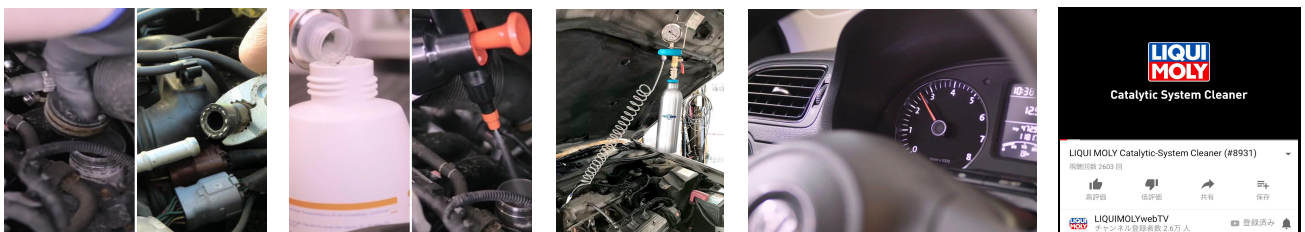
ドイツ製のガソリンエンジン用の添加剤です。触媒システムの詰まりを防ぎ、インテークバルブと燃焼室を清掃して、燃料の燃焼を改善します。クリーンなエンジンは燃料消費量とCO2排出量を削減します。燃料システムの腐食も防ぎます。吸入・燃焼システムで見られる典型的な汚染物質や堆積物を除去するためのハイクラス添加剤の組み合わせによる特別な配合の活性溶媒です。高い洗浄効果は、きれいな触媒システムを保証し、排気ガスを低減します。吸入及び燃焼システムの油類や樹脂または接着残留物などの付着物及び汚染物を溶解して除去します。そして触媒システムの信頼性を高めます。

特に直噴エンジンのインテーク汚れに作用し馬力と燃費を回復！



上記は左右のイラストでインジェクターのシステムの違いを説明しています。左図は従来型のポートタイプで右図が直噴型です。直噴型はこの写真のバルブや触媒のように汚れが激しく、特に吸気系統における煤などの未燃焼ガスのカーボン汚れが堆積します。原因は吸気側への燃焼ガスの吹き返し（主にオーバーラップ時に発生）によりインテークマニホールド～吸気バルブ間に堆積します。直噴エンジンの吸気バルブは空気しか通らず吸気ラインの間で付着した汚れが落ちない為、この添加剤をダイレクトに吸入し作用することが非常に有効です。

“LIQUIMOLY web TV”にて使用方法の動画をご覧ください！



2通りの使用方法がございます。ポンプスプレーの場合はボトルに添加剤を注ぎポンプアップします。可能であればターボチャージャーの後ろの吸気管へのアクセスを確立します。アクセスはエアフローセンサーのすぐ後ろにある必要があります。または負圧パイプに溶剤入りボトルからホースを繋いで少しずつ溶剤を送ります。エンジンを始動し適度なアイドリング回転（2,000-3,000 rpm）を維持し、短い間隔で添加剤を吸気管にスプレーします。速度が変動し始めることがなければ噴霧の間隔を長くすることができます。急激に速度が変動して回転数が落ちる場合（<700 rpm）はポンプスプレーの間隔を短くしてください。負圧パイプに繋いだ場合はボトルのバルブで調整して下さい。施工中は液剤の燃焼残がマフラーから白煙として排出されるか、もしくは黒い煤が徐々に排出されたりします。車種の構造や汚れの状態により異なります。施工後は燃焼の促進の為に高速走行することで汚れが更に排出されます。ポンプスプレーの場合の使用方法はYoutubeのリキモリ公式チャンネルの「LIQUIMOLY web TV」をご覧ください。

「LIQUI MOLY Catalytic-System Cleaner (#8931)」でアクセス→<https://www.youtube.com/watch?v=c5efSS31obl>